

【技術の名称】 サクラコラム工法 ー拡径部を築造可能なスラリー系機械攪拌式深層混合処理工法ー (改定1)	性能証明番号：GBRC 性能証明 第20-04号 改1 性能証明発効日：2024年11月15日 性能証明の有効期限：2027年11月末日 【取得者】 株式会社 JFD エンジニアリング
-------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【技術の概要】

本技術は、セメント系固化材のスラリーを吐出しながら地盤を掘削攪拌することで、柱状の地盤改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。本技術の特徴は、引上げ工程時に、掘削攪拌装置を所定深度で逆回転し、共回り防止翼を軸回転と同期させることが可能となる機構を採用することで、任意の深度で軸部より径の大きい拡径部を築造することができることである。

【改定・更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第20-04号 (2020年5月22日)

更新：GBRC 性能証明 第20-04号 (更1) (2023年5月15日)

改定1：GBRC 性能証明 第20-04号 改1 (2024年11月15日)

- ・ 申込者の変更 (ゼロド株式会社から株式会社 JFD エンジニアリングへの変更)
- ・ 分散剤の追加 (液体分散剤の追加)
- ・ 品質管理方法の変更

【技術開発の趣旨】

本技術は、所定の支持力を確保しながら、改良体の軸部を任意の深度で拡径することで使用材料量等を縮減可能とすることを意図して開発された。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「サクラコラム工法 施工管理指針」に従って築造される改良体は、土質に応じて 400～1,000kN/m² の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土および粘性土で 35%を採用できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。



写真-1 攪拌混合装置



写真-2 築造した改良体の一例



(i) 断面コアの採取

(ii) 拡径部出来形確認

写真-3 品質確認試験の一例

【本技術の問合せ先】

株式会社 JFD エンジニアリング 担当者：芋野 公雄
〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2丁目1-31 京阪堂島ビル5階

E-mail : imono@jfd-gr.co.jp
TEL : 06-6690-8353 FAX : 06-6690-8354